

作成年月日	令和 3年 11月 24日
作成部局	企画県民部県民生活局芸術文化課

## 兵庫陶芸美術館 特別展「やきものの模様—動植物を中心に—」の開催

### 1 展覧会の概要

やきものの模様には、絵画のような「アート」からアイディアを得た模様と、自然科学の「サイエンス」に着想を得た模様があります。本展では、江戸時代以降に作られた、やきものの模様に込められた願いや思い、また模様が生み出される過程を紹介します。

また、本展は兵庫県立人と自然の博物館との共催で、来年の干支・トラを初めとした動物のはく製や植物の標本等、出品作品にちなんだ動植物の展示もお楽しみいただけます。



丹波 《色絵立鶴文徳利》(1対)  
江戸時代後期 兵庫陶芸美術館  
(田中寛コレクション)  
兵庫県指定重要有形文化財

会 期	2021年12月11日(土)～2022年2月27日(日)
開館時間	10:00～18:00 ※入館は閉館の30分前まで
休 館 日	月曜日、2021年12月31日、2022年1月1日 (ただし1月3日(月)・10日(月・祝)は開館し、1月4日(火)・1月11日(火)は休館)
観 覧 料	一般600(500)円、大学生500(400)円、高校生以下無料 ( )内は20名以上の団体割引料金 70歳以上半額
会 場	兵庫陶芸美術館(〒669-2135 丹波篠山市上立杭4)
主 催	兵庫陶芸美術館、神戸新聞社
共 催	兵庫県人と自然の博物館

### 2 関連イベント(主なもの)

#### ◆親子で楽しむ星空鑑賞会「移動式プラネタリウム+天体望遠鏡による星空鑑賞会」

日 時	2021年12月25日(土) 15:30～18:30
会 場	研修棟1階セミナー室/エントランス棟2階レストランウッドデッキ
講 師	小関高明氏(関西モバイルプラネタリウム代表)
定 員	25名(事前申込制、先着順)
参加費	一般300円、大学生250円、高校生以下無料(展覧会鑑賞券付)

#### ◆ワークショップ「オープン絵付体験 トラのはしおきを作ろう」

日 時	2022年1月15日(土) ①10:00～12:45 ②13:00～15:45
場 所	エントランス棟1階 工房
講 師	陶芸指導員
定 員	各20名(事前申込制、応募締切 12月16日(木)応募者多数の場合は抽選)
参加費	中学生以上1,000円、小学生500円

#### ◆記念講演会「富本憲吉の羊歯模様はどのように生み出されたのか」

日 時	2022年2月5日(土) 13:30～15:00(開場は13:00)
会 場	研修棟1階セミナー室
講 師	鈴木武氏(兵庫県立大学講師・兵庫県立人と自然の博物館研究員)
定 員	110名(事前申込制、先着順、聴講には本展の観覧券(半券可)が必要)

【問い合わせ先】兵庫陶芸美術館 学芸課、企画・事業課  
電話：079-597-3961 FAX：079-597-3967  
E-mail: togei@pref.hyogo.lg.jp

プレス・リリース

Press Release



寅年ですから

模様の中心に

やきもの

A collage of various Japanese motifs including a tiger, a bird, a fish, a rabbit, and a lizard. The motifs are arranged around the central text, with some overlapping it. The tiger is blue and white, the bird is yellow and white, the fish is blue, the rabbit is white, and the lizard is blue.

上から

丹波 色絵立鶴文徳利 (1対) 江戸時代後期  
兵庫陶芸美術館 (田中寛コレクション) 兵庫県指定重要有形文化財

幹山伝七 色絵牡丹文チュリー 明治時代前期  
兵庫陶芸美術館

富本憲吉 色絵金彩羊歯模様大飾壺 1960年  
京都国立近代美術館



土と語る、森の中の美術館

兵庫陶芸美術館

The Museum of Ceramic Art, Hyogo

# やきものの模様 — 動植物を中心に — について



やきものには、古くからさまざまな模様が描かれてきました。山野に自生する松や竹。森の中を駆け巡る兎や鹿。身近に咲きほこる梅や菊。そこに集う鶯や雀。大空をはばたく鶴や鷹。また、水辺に生える葦や蓮。そこに棲む鷺や鴨。水藻の間を泳ぐ魚や亀。海の中にいる海老や蛸、そしてサメやシャチ。さらには、当時、目にすることが珍しかった虎や象にいたるまで、数多くの動植物が生き生きと描かれ、見る者の目を楽しませてくれます。これらのモチーフとなった動植物の多くは、すでに描かれていた花鳥画をはじめとした絵画などから写し取られたものでした。それと同時に、それぞれの模様には、人々の思いや願いが込められていました。

一方、科学的な眼で動植物を観察し、そのエッセンスをもとに、デザインされた模様もあります。陶芸家富本憲吉（1886～1963）の羊齒<sup>しだ</sup>模様が、その代表のひとつといえます。植物を実際に観察し、忠実に描いた素描から、個性あふれるオリジナルの模様を生み出しました。そして、やきものの模様には「模様より模様を造るべからず」という、新たな発想を持ち込みました。

このように、やきものの模様には、絵画のような「アート」からアイデアを得た模様と、自然科学の「サイエンス」に着想を得た模様があります。本展では、江戸時代以降に作られた、やきものの模様に込められた願いや思い、また模様が生み出される過程を紹介します。模様が持つ神秘的で奥深い世界を、「アート」と「サイエンス」の双方の眼で観察し、新たな一面見出す機会とします。

## ◆ 展覧会の特徴

### 1 やきものに描かれた多様な動植物

野山の木々や四季の花々、里や水の中のいきもの。さらには珍獣や空想上の霊獣など。やきものの模様は、あたかも絵画の一場面を切り取ったような情景が器面いっぱいに展開されています。それもそのはず、これらの図様は、山水画や花鳥画などの中国からもたらされた、版本などが元になっています。そこから画題や構図を取り入れ、さらには吉祥の意味を込めて、やきものの器面をキャンバスに見立てて描かれたのです。しかしながら、見れば見るほど躍動感にあふれています。

### 2 デザイン化された模様—富本憲吉の植物模様から—

富本憲吉の羊齒<sup>しだ</sup>や四弁花<sup>しべんか</sup>などの模様は、デフォルメされ、一見デザイン化された文様のようにはみえます。ところが、これらは自生する植物をデッサンし、生み出されたものです。そこに注目した兵庫県立大学講師・兵庫県立人と自然の博物館のシダ植物の研究者が、今回、富本の羊齒模様がサイエンスの眼で見つめ、羊齒の標本からアートへの道のりを解き明かしました。本展は、アートをサイエンスから切り込んだ初めての展覧会です。

### 3 アートをサイエンスの視点から読み解く

やきものに描かれた、生き生きとした魅力あふれる模様の多くは、絵画などをもとに生み出されました。そのようなアートの要素を取り入れたやきものの模様を、植物の標本や動物の剥製と見比べると、自然の姿とは異なることに気がつきます。どこが違うのか、どこがそっくりなのか、サイエンスの目でアートを探索すると、きっと新たな世界が開けます。



## 展覧会概要

### ◆展覧会名称

やきものの模様—動植物を中心に—

### ◆英文名称

Design of ceramics—focusing on animals and plants—

◆会 期：2021年12月11日（土）～2022年2月27日（日）（66日間）

◆開館時間：10：00～18：00

※入館は閉館の30分前まで

◆休 館 日：月曜日、12月31日（金）、1月1日（土・祝）

※ただし、1月3日（月）、1月10日（月・祝）は開館し、1月4日（火）、1月11日（火）は休館

◆観覧料：一般 600円（500円）、大学生 500円（400円）、高校生以下無料

※（ ）内は、20名以上の団体割引料金です。

※70歳以上の方は半額になります。

※障害のある方は75%割引、その介助者1名は無料になります。

※17：00以降に観覧される場合は、夜間割引料金になります。

（一般 300円、大学生 250円）

◆会 場：兵庫陶芸美術館 展示室2・4・5

◆出品点数：約100件

◆主 催：兵庫陶芸美術館、神戸新聞社

◆共 催：兵庫県立人と自然の博物館

◆後援：兵庫県、兵庫県教育委員会、丹波篠山市、丹波篠山市教育委員会、丹波市、丹波市教育委員会、公益財団法人 兵庫県芸術文化協会、公益財団法人 兵庫県国際交流協会

◆協力：丹波立杭陶磁器協同組合



## 関連イベント

◆記念講演会「富本憲吉の羊歯模様はどのように生み出されたのか」

[日時] 2022年2月5日(土) 13:30~15:00 (開場は13:00)

[会場] 当館研修棟1階セミナー室

[講師] 鈴木武氏 (兵庫県立大学講師・兵庫県立人と自然の博物館研究員)

[定員] 110名 (事前申込制、先着順)

※聴講には本展の観覧券(半券可)が必要

◆親子で楽しむ星空鑑賞会「移動式プラネタリウム+天体望遠鏡による星空鑑賞会」

[日時] 2021年12月25日(土) 15:30~18:30

[会場] 当館研修棟1階セミナー室/エントランス棟2階レストランウッドデッキ

[講師] 小関高明氏 (関西モバイルプラネタリウム代表)

[定員] 25名 (事前申込制、先着順)

[参加費] 一般300円、大学生250円、高校生以下無料 (観覧会鑑賞券付)

◆ワークショップ「オープン絵付体験 トラのはしおきを作ろう」

[日時] 2022年1月15日(土) ①10:00~12:45 ②13:00~15:45

[場所] 当館エントランス棟1階 工房

[講師] 当館陶芸指導員

[定員] 各20名 (事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

[参加費] 中学生以上1,000円、小学生500円

※応募締切 2021年12月16日(木) 16:00 必着

◆ギャラリートーク：当館学芸員による展示解説

[日時] 2021年12月18日(土)、2022年1月8日(土)、1月22日(土)、2月19日(土)

いずれも11:00から1時間程度 (観覧券が必要)

◆新春のおもてなし

[日時] 2022年1月2日(日)~1月3日(月)

観覧会ご入場の方、各日先着100名様に、丹波焼小皿をプレゼントします。また、期間中は割引料金で観覧いただけます。

〈一般〉 600円→500円 〈大学生〉 500円→400円

※各イベントに関する詳細は、お問い合わせください。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、展覧会を含め各イベントにつきましては変更・中止となる場合があります。最新情報は、当館ホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。



## お知らせ・お問い合わせ

### ◆同時開催のテーマ展

2021 年度著名作家招聘事業×テーマ展

「八代 清水六兵衛展—陶を構築する—」

2021 年 12 月 11 日（土）～2022 年 2 月 27 日（日）

「丹波焼の世界 season5」

2022 年 2 月 27 日（日）まで

### ◆次回特別展

「オールドノリタケ×若林コレクション

—アールヌーヴォーからアールデコに咲いたデザイナー—」

2022 年 3 月 19 日（土）～5 月 29 日（日）

### ◆交通のご案内

・ JR 福知山線「相野駅」下車

駅前より神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き乗車約 15 分、「兵庫陶芸美術館」下車

・ 舞鶴若狭自動車道・三田西 I C より約 15 分、または丹南篠山口 I C より約 20 分

### ◆本資料に関するお問い合わせ

兵庫陶芸美術館

広報担当：企画・事業課 澤野 洋子（サノ ヨウコ）

E-mail : Youko\_Sawano@pref.hyogo.lg.jp

展覧会担当：学芸課 岡田 享子（オカダ キョウコ）

E-mail : Kyouko\_Okada@pref.hyogo.lg.jp

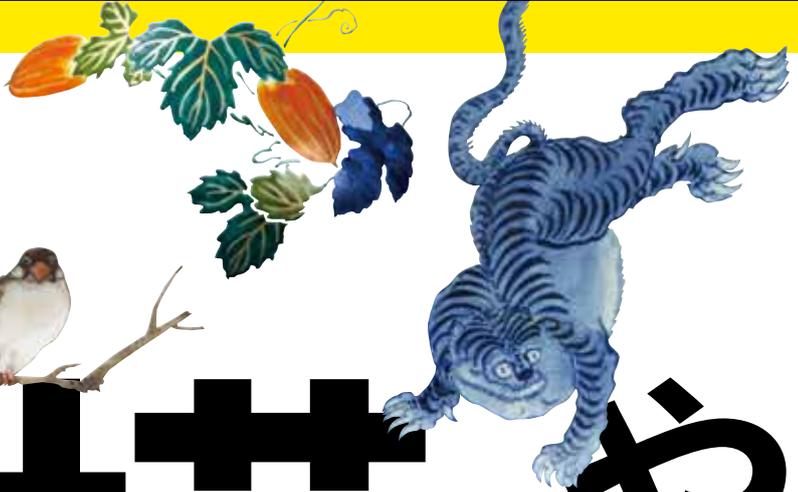
住 所：〒669-2135 兵庫県丹波篠山市今田町上立杭 4

T E L : 079-597-3961

F A X : 079-597-3967

ホームページ : <https://www.mcart.jp>

有田(梁付竹虎文大皿)  
江戸時代後期  
兵庫陶芸美術館  
(赤木清士コレクション)



# 模様のやきもの

動植物を中心に

2021  
**12月11日(土)** ↓ 2022  
**2月27日(日)**

休館日 月曜日、2021年12月31日(金)、2022年1月1日(土、祝)  
 ※ただし1月3日(月)、1月10日(月)祝は開館し、1月4日(火)、1月11日(火)は休館  
 開館時間 10時~18時 ※入館は閉館の30分前まで  
 観覧料 一般600円(500円)、大学生500円(400円)、高校生以下無料  
 ※( )内は、20名以上の団体割引料金です。 ※70歳以上の方は半額になります。  
 ※障害のある方は75%割引、その介助者1名は無料になります。  
 ※17時以降に観覧される場合には、夜間割引料金になります。(一般300円、大学生250円)  
 主催 兵庫陶芸美術館、神戸新聞社  
 共催 兵庫県、兵庫県教育委員会、丹波篠山市、丹波篠山市教育委員会、丹波市、丹波市教育委員会  
 後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、丹波篠山市、丹波篠山市教育委員会、丹波市、丹波市教育委員会  
 協力 丹波立杭陶磁器協同組合、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、公益財団法人兵庫県国際交流協会



丹波(色絵立鶴文徳利)(1対) 江戸時代後期  
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)  
兵庫県指定重要有形文化財



富本憲吉(色絵金彩羊歯模様大飾壺)  
1960年  
京都国立近代美術館



幹山伝七(色絵牡丹文チュリン)  
明治時代前期  
兵庫陶芸美術館



# 模様のやきもの

動植物を中心に



やきものには、古くからさまざまな模様が描かれてきました。山野に自生する松や竹。森の中を駆け巡る兎や鹿。身近に咲きほこる梅や菊。そこに集う鶯や雀。大空をはばたく鶴や鷹。また、水辺に生える葦や蓮。そこに棲む鶯や鴨。水藻の間を泳ぐ魚や亀。海の中にいる海老や蛸、そしてサメやシャチ。さらには、当時、目にすることが珍しかった虎や象にいたるまで、数多くの動植物が生き生きと描かれ、見る者の目を楽しませてくれます。これらのモチーフとなった動植物の多くは、すでに描かれていた花鳥画をはじめとした絵画などから写し取られたものでした。それと同時に、それぞれの模様には、人々の想いや願いが込められていました。

一方、科学的な目で動植物を観察し、そのエッセンスをもとに、デザインされた模様もあります。陶芸家富本憲吉(1886~1963)の羊歯模様<sup>しだ</sup>が、その代表のひとつといえます。植物を実際に観察し、忠実に描いた素描から、個性あふれるオリジナルの模様を生み出しました。そして、やきものの模様には「模様より模様を造るべからず」という、新たな発想を持ち込みました。

このように、やきものの模様には、絵画のような「アート」からアイデアを得た模様と、自然科学の「サイエンス」に着想を得た模様があります。本展では、江戸時代以降に作られた、やきものの模様に込められた願いや想い、また模様が生み出される過程を紹介します。模様が持つ神秘的で奥深い世界を、「アート」と「サイエンス」の双方の眼で観察し、新たな一面を見出すこの機会をお楽しみ下さい。



- 1 出石(色絵藻菜文耳付瓶) 明治時代後期 兵庫陶芸美術館
- 2 有田(染付絞繪文大皿)(部分) 江戸時代後期 兵庫陶芸美術館(赤木清士コレクション)
- 3 富本憲吉(色絵金銀彩四弁花模様蓋付飾壺) 1956年 兵庫陶芸美術館
- 4 トラの剥製(部分) 兵庫県立人と自然の博物館
- 5 神戸絵付(色絵花鳥図輪花皿)(部分) 明治時代後期~昭和時代 兵庫陶芸美術館
- 6 富本憲吉(赤絵羊歯模様大角陶板) 1935年 奈良県立美術館
- 7 富本憲吉(素描(羊歯)) 1910~1920年代 京都市立芸術大学芸術資料館
- 8 三代清風与平(色絵百花鐘文煎茶碗) 明治時代~大正時代 兵庫県立美術館(額川コレクション)

【展示期間】2022年1月21日まで 7

8

## 記念講演会

「富本憲吉の羊歯模様はどのように生み出されたのか」  
 日時=2022年2月5日(土) 13:30~15:00(開場は13:00)  
 講師=鈴木武氏(兵庫県立大学講師・兵庫県立人と自然の博物館研究員)  
 会場=当館研修棟1階 セミナー室  
 ※聴講には本展の観覧券(半券可)が必要です。  
 ※事前申込制(先着110名)



## ◎新春のおもてなし◎

日時: 2022年1月2日(日)~1月3日(月)  
 展示会ご入場の方、各日先着100名様に、丹波焼小皿をプレゼントします。  
 また、期間中は割引料金で観覧いただけます。  
 (一般600円 → 500円、大学生500円 → 400円)

※各イベントに関する詳細は、お問い合わせください。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、展示会、各イベント等の会期や内容に変更が生じる場合があります。最新情報は、兵庫陶芸美術館ホームページにてご確認ください。

## 親子で楽しむ 星空鑑賞会

移動式プラネタリウム+天体望遠鏡による星空鑑賞会  
 日時=2021年12月25日(土) 15:30~18:30  
 講師=小関高明氏(関西モバイルプラネタリウム代表)  
 会場=当館研修棟1階 セミナー室、エントランス棟2階 レストランウッドデッキ  
 定員=25名(事前申込制、先着順)  
 参加費=一般300円、大学生250円、高校生以下無料(展示会鑑賞券付)

## ワークショップ

「オープン絵付体験 トラのはしおきを作ろう」  
 日時=2022年1月15日(土) ①10:00~12:45 ②13:00~15:45  
 講師=当館陶芸指導員  
 場所=当館エントランス棟1階 工房  
 定員=各20名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)  
 参加費=中学生以上1,000円、小学生500円  
 応募締切=2021年12月16日(木) 16:00必着

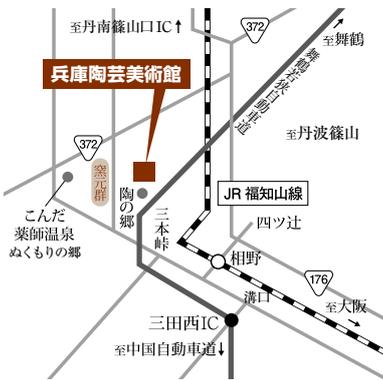


## ギャラリートーク

当館学芸員による展示解説  
 日時=2021年12月18日(土)、2022年1月8日(土)、1月22日(土)、2月19日(土)  
 いずれも11:00から1時間程度(観覧券が必要です。)

同時開催のテーマ展  
 2021年度著名作家招聘事業×テーマ展  
 「八代 清水六兵衛展-陶を構築する-」  
 2021年12月11日(土)~2022年2月27日(日)  
 「丹波焼の世界season5」  
 開催中~2022年2月27日(日)

次回特別展  
 オールドノリタケ×若林コレクション-アールヌーヴォーからアールデコに咲いたデザイン-  
 2022年3月19日(土)~5月29日(日)



交通のご案内  
 [鉄道・バスをご利用の場合]  
 ○JR福知山線「相野駅」下車(大阪駅から約50分)  
 ○駅前から神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き乗車約15分。「兵庫陶芸美術館」下車  
 ※相野駅発バス時刻 9:35、10:20、13:00、15:45、16:47  
 土日祝は10:44、11:44、14:00が増便(2021年11月現在)

[自動車をご利用の場合]  
 ○舞鶴若狹自動車道・三田西ICから約15分、または丹波篠山ICから約20分  
 ○中国自動車道・滝野社ICから国道372号を東へ約30分  
 ○阪神方面から国道176号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約15分  
 ○駐車場無料(敷地内) 普通車58台分、大型可

[その他]  
 ○無料貸出有(車椅子4台、ベビーカー2台)

土と語る、森の中の美術館  
**兵庫陶芸美術館**  
 The Museum of Ceramic Art, Hyogo  
 〒669-2135 兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4  
 TEL 079-597-3961(代表)  
 https://www.mcart.jp